

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

コシヒカリ（5月上～中旬植え）は概ね順調に生育しており、急激に茎数が増加しています。まだ田面が柔らかい場合は、歩くと足跡が浅く残る程度まで、しっかり干し固めてください。また、田植えの遅い場合は、田植え後1か月を目途に中干しを開始してください。

◇コシヒカリの生育状況（6月17日現在：魚津市生育調査ほ7カ所平均）

年度	草丈 (cm)	茎数（本）		葉齢	葉色
		株当たり	m ² 当たり		
R7年	38.5	22.1	445	8.9	4.3
近年 (6/17時点)	41.0	23.0	456	9.0	4.3

1. 中干し後の水管理

中干しが終わった後は、「**間断かん水**」を実施する。

出穂30日前からは、土壌を乾かさないう入水（ヒタヒタ水）する。

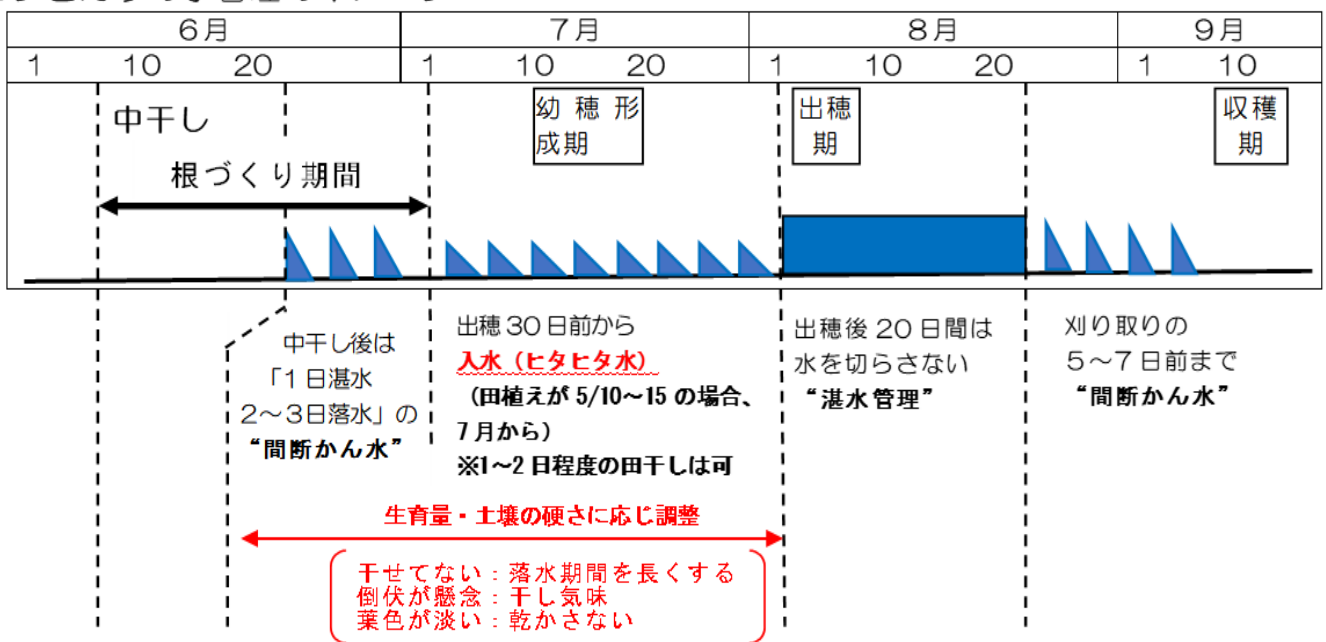
◆「間断かん水」の目安 ※湛水時はヒタヒタ水

乾きやすい場合は ⇒ 1日湛水、2～3日落水

乾きにくい場合は、葉色が濃い場合は ⇒ 1日湛水、4～5日落水

（注）肥料等を追肥する場合は、水をためて追肥した後、落水せず自然減水してから「間断かん水」に移ってください。

コシヒカリの水管理のイメージ



2. てんたかくの管理

(1) 一発基肥肥料栽培の場合

基本的には追肥は不要ですが、6月下旬に葉色が4.2（粘質土4.0）より薄い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行う。

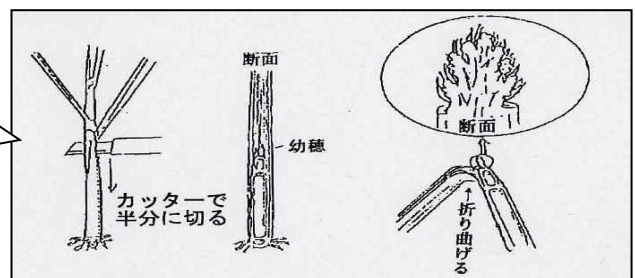
(2) 分施肥系※の場合 ※基肥 206号+穂肥

1回目（出穂 25日前）			2回目（出穂 15日前）	
幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1~2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 10~13kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.0以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



3. 病虫害防除

(1) カメムシ対策

前年の大発生を受け、雑草地のカメムシ類の発生が多い状況です。カメムシ類の生息数を抑えるため、餌となるイネ科雑草の穂が出る前にこまめに除草を行いましょう。また、大麦跡田なども雑草が繁茂しないように適正に管理しましよう。

主要なカメムシ類



アカヒゲホノドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



クモヘリカメムシ



イネ科雑草(草丈 30~40 cm)

地域で一斉に取り組みましょう！

草刈り運動期間 6月29日(日)~7月6日(日)

※草刈り時は保護具の着用や熱中症対策等、作業者の農作業安全に十分注意するとともに、周辺の人や車などにも十分注意して下さい。

※用水付近の草刈りは転落防止に気をつけるとともに、刈り取った草は、用水に流さないで下さい。

(2) 随時防除

畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましよう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬~7月上旬	トレボン粉剤 DL	3~4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましよう。